

2019年度第1回（通算第33回）POC技術委員会 議事録

日時：2019年4月26日（金）16：30～18：00

場所：ホテルライフオート札幌 4F アニマート

参加：ベ谷直人、菊池春人、福田篤久、坂本秀生、櫛引健一、小林隆、東野功嗣、山崎家春、山田 修、後藤慎一、竹澤理子、久保田芽里、太田麻衣子、服部聡、木下敬一郎、福岡京子、木下陽介、乗船政幸、佐藤寛、大戸秀夫、奥村道之、中井剛史、弘田浩之、福田滋弘、渋谷未来、吉尾仁美、薬師寺小百合、樋渡亮二、工藤僚康、小花裕二、二宗みのり、奥田優子、岡尚人（敬称略）

記録：岡尚人

配布：2019年度第1回（通算第33回）POC技術委員会議事（メールにて）

協議・報告事項

1. 委員会名簿

新委員長： 福田篤久 （2019年4月より）

委員交代： アイ・エル・ジャパン（株）大久保委員から二宗みのり委員
（株）堀場製作所 奥村委員から渋谷未来委員

2. POCセミナー予定

1) 第70回 POCセミナー： 奥田

下記内容が奥田（三好代理）より提案され、合意・決議された

テーマ： 「血液ガス分析の知識と分析技術のコツを学ぶ」

日時： 2019年5月17日（金）14:00～18:00

定員： 150名

単位： 4単位（総論、運用技術論、測定技術論、記録・通信各1単位）

会場： シーモールホール4階①② 山口県下関市

関連学会： 第68回日本医学検査学会

共催： 行列のできるスキルアップ研修会X

認定救急検査技師制度、山口県臨床検査技師会

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス、シスメックス

アボットジャパン、アイエル、ノバ・バイオメディカル

テクノメディカ、ラジオメーター

コメント：実習、資料等の準備は順調に進んでいる

2) 第71回 POCセミナー： 太田

下記内容が太田より提案され、合意・決議された

テーマ： 「Point of care testingにおける精度保証」

～検査前および検査後プロセスを中心に～

日時： 2019年10月3日（木）13：00～17：00（予定）

定員： 130名

単位： 4単位（総論2単位、運用技術論1単位、測定技術論1単位）

会場： パシフィコ横浜 神奈川県横浜市
関連学会：第 51 回日本臨床検査自動化学会
共催： シスメックス、アークレイ、ロシュ・ダイアグノスティクス
栄研化学、シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス
アリーアメディカル、三和化学
コメント：実習テーマは尿検体を用いた POCT のリスクマネージメント
菊地演題名を尿検査の精度保証は可能か？と変更する
各演者の演題を 5 月 10 日までに決定の必要あり

3) 第 10 回 POC コーディネーター更新セミナー： 坂本

下記内容が坂本より提案され、合意・決議された
テーマ： 「POC コーディネーターとしての役割を考える」
日時： 2019 年 10 月 4 日（金）13：00～15：00（予定）
定員： 80 名
単位： 2 単位（総論）
会場： パシフィコ横浜 神奈川県横浜市
関連学会：第 51 回日本臨床検査自動化学会
コメント：ワークショップ形式でセミナー開催を予定
POC コーディネーターが必要とされる技量を意見交換する

4) 第 72 回 POC セミナー 後藤

後藤より下記内容の報告がなされ、担当委員等承認された
テーマ： 「イムノクロマト法を用いた感染症診断」
日時： 2019 年 11 月 21 日（木）～24 日（日）のいずれかで実施予定
定員： 50 名
場所： 岡山コンベンションセンター
関連学会：第 66 回日本臨床検査医学会学術集会
共催： 日本検査医学会
コメント；担当幹事は木下（敬）、服部、乗船、後藤が幹事となり企画立案

予定

5) 第 73 回 POC セミナー： 岡

下記内容にて岡（中村代理）より提案され、合意・決議された
テーマ： 「検査室外の機器の管理・運用」
日時： 2019 年 9 月 7 日（土） 13:50～17:30
定員： 80 名
単位： 4 単位（総論 1 単位、運用技術論 2 単位、測定技術論 1 単位）
会場： ホテルニュータнда 長崎県 長崎市
関連学会：日臨技九州支部 第 1 2 回生化学部門研修会
共催： 日本臨床衛生検査技師会九州支部、
ノバ・バイオメディカル、ロシュダイアグノスティクス
ラジオメーター、
コメント：4 時間に満たないのであれば 4 単位は付与できない、現状のプログラムであれば 3 単位とし、4 時間のプログラムとする。

3. POC セミナー報告

- 1) 第 68 回 POC セミナー： 竹澤
- 竹澤より、下記の通りセミナー報告がなされた
テーマ： 「POCT 対応遺伝子検査システムを学ぼう」
～感染症検査を中心に～
- 日時： 平成 30 年 11 月 18 日（日）9：00～11：30（受付開始 8：30）
参加人数：72 名スタッフ込
場所： 京王プラザホテル本館 4F 花 C・D 東京都新宿区
関連学会：第 65 回日本臨床検査医学会学術集会
共催： 日本検査医学会
栄研化学、ロシュ・ダイアグノスティクス、アークレイ、
ベックマンコールター、
コメント：細川講師の講演は立ち見が出るほどの参加であった

- 2) 第 69 回 POC セミナー： 久保田
- 久保田より、下記の通りセミナー報告がなされた
テーマ： 「POCT による災害対策」
- 日時： 平成 31 年 2 月 10 日（日）13：00～15：00
参加： 33 名スタッフ込
単位： 2 単位（総論）
場所： 岡山理科大学
関連学会：第 29 回生物試料分析科学会年次集会
共催： 生物試料学会
コメント：参加者は少なかったが、内容濃く盛況であった
生物試料学会 増田理事長より 2020 年度の学会（大阪）にて POC
セミナー共催の依頼があり委員会として共催が合意された

4. POC コーディネーター： 後藤
- 後藤より、POC コーディネーター取得・更新状況の報告がある。人数は下記の通りである

新規 17 名
更新 12 名
POCC 168 名

*最大は 300 名を超えていたが、減り続けており施策が必要。

理由としてはメリットがない、更新に関する案内が無い、手法が不明瞭等の意見があり、対策が必要。

対策の一つを POC コーディネーター認定制度とする

5. POC コーディネーター認定制度

福田

福田より、POC コーディネーター認定制度、ワーキンググループに関して報告があった。

- ・ POC 認定制度に関するワーキンググループが自動化学会内に作られることが理事会で承認された
- ・ POC 認定制度準備ワーキンググループメンバーは下記の通りとした
 - 坂本、櫛引、久保田、竹澤、乗船、後藤
- ・ 第一回認定試験は、2020 年秋を目標とする
- ・ POC コーディネーター更新者は自動認定（企業含め）を予定
- ・ 本ワーキングは POC 技術委員会内に設置されるため、ワーキングメンバー以外のメンバーも積極的な関与を希望するとの依頼あり。

各委員より以下の意見が寄せられた

- 日程が限られているため、WG が中心となり全委員が積極的に参加する
- メーカーもピットフォール、海外の状況等 積極的に参画する
- 検体検査のみならず生理機能検査に関しても検討が必要である
- 本活動に合わせエビデンス蓄積により管理加算等の礎とする
- 認定に対し、交通費、会議場費用等の予算確保が必要である
- 受験資格として自動化学会会員であれば企業社員も可と検討願いたい
- メーリングリストを有効活用し情報交換の場とする
- POCT 関連機器・試薬のリストに関しては定期的な更新を希望あり
本作業は膨大であり、実施するのであれば改善が必要との意見あり

6. その他

- 1) 各委員会名簿の更新（兼送付先確認）と COI 自己申告書の提出
作業スケジュールとしては下記の通りである
 - ①5 月末までに委員会から事務局に委員名簿を提出
 - ②6 月下旬に委嘱書を本人宛に、事務局より発送
 - ③委嘱書に同封されている COI 自己申告書を事務局に返送、
- 2) 日本臨床検査薬協会と日本臨床検査薬卸連合会との定例会議 岡委員
災害時の臨床検査薬・臨床検査機器の支援に関する第一回の情報交換がもたれた。
岡より日本臨床検査医学会の支援活動に関する報告を行った。課題の情報収集、流通の連携に関する点を話し合った。今後も継続しての話し合いを持つ。
- 3) メーリングリストに関して
POC コーディネーターメーリングリストへ、委員会企業委員は追加する事で合意
- 4) 2020 年 2 月 1 日～2 日に、第 30 回生物試料分析科学会・年次学術集会（第 30 回記念大会）が、第 4 回大臨技医学検査学会との

合同開催の形式で開催される（千里ライフサイエンスセンターにて）
その折に、増田理事長からPOCセミナーの開催を打診された。
今回の委員会にて、「開催」の合意が得られた。

5) 次回委員会

日本臨床検査自動化学会 第51回大会開催時

日時： 10月4日（金）10：30～12：00（予定）

場所： パシフィコ横浜 神奈川県 横浜市

以上

第 70 回 POC セミナー・認定救急検査技師制度共同企画 開催概要

(山口県臨床検査技師会主催-行列のできるスキルアップ研修会 X)

| | | |
|-------------------|--|--|
| テーマ | 血液ガス分析の知識と分析技術のコツを学ぶ | |
| 概要 | <p>本企画は、2017 年に開催されたスキルアップ研修会で超満員となった人気企画、日本臨床検査自動化学会 POC 技術委員会と日臨技認定センター 認定救急検査技師制度部門のコラボレーション第 2 弾である。今回は、救急検査および POCT の筆頭である「血液ガス」にフォーカスを当て開催する。現在、臨床現場で用いられている血液ガス装置は、pH や換気能だけではなく、電解質や血糖、乳酸、クレアチニン、ビリルビンなど様々な項目を測定でき、上手く活用できれば非常に強力なツールとなる。</p> <p>本セミナーは、臨床的意義、データの判読といった基礎的な内容から、救急現場・臨床現場での有用性、新規測定項目や最新のトピックスまで、血液ガス分析のエッセンスを存分に詰め込んだ内容としたい。</p> | |
| 実施概要 | | |
| 共催 | (一社) 山口県臨床検査技師会、(一社) 日本臨床検査自動化学会及び血液ガス装置製造販売/販売企業 (募集) | |
| 開催日時 | 2019 年 5 月 17 日 (金) 14:00~18:00 | |
| 開催場所 | 4F シーモールホール①② 他 | |
| 取得単位 | 4 単位: 総論、運用技術論、測定技術論、記録・通信 各 1 単位 | |
| 募集人数 | 150 名 | |
| 参加費 | 4000 円 (学会参加費とは別) | |
| セミナー 幹事 敬称略 | 福田 篤久 三好 雅士 (徳島大学病院) 久保田芽里 (大阪医科大学附属病院) 福岡京子 (りんくう総合医療センター) 木下陽介 (山陰労災病院) 繁正志 (大阪医科大学附属病院) 中村政敏 (鹿児島大学病院) | 日臨技認定救急検査技師制度審議会委員長 POC 技術委員会委員 日本救急検査技師認定機構 日本救急検査技師認定機構 日本救急検査技師認定機構 POC 技術委員会委員 POC 技術委員会委員 |
| プログラム | | |
| 講演 | 講演 血液ガス分析 ~その一 酸素化能について~ 守田政宣 (宮崎大学医学部附属病院) ~その二 換気能について~ 太田麻衣子 (亀田総合病院) ~その三 酸塩基平衡について~ 濱田宏輝 (大阪府三島救急医療センター) 特別講演 血液ガス分析、誰のために、何を求めて実施されるのか 羽川直宏 (大阪市立大 救急医学) 司会: 福田篤久、三好雅士 | |
| 実習 | 小型携帯型~据え置き型、情報集約端末を含め、血液ガス機器全般について実習。 8~10 ブース、1 グループ 15~20 名を予定。 司会: 繁正志、中村政敏 | |
| その他 | | |
| 経費 備考 | 1、非会員講師への謝金・宿泊・交通費は山口県臨床検査技師会から支出。 2、実習に供する試薬・機器等は共催企業が準備・負担する。 | |

第 71 回 POC セミナー（JSCLA 第 51 回大会/企業共催）企画

| | |
|-------------------|--|
| テーマ | 「Point of Care Testing における精度保証」 |
| サブタイトル | ～検査前および検査後プロセスを中心に～ |
| 概要 | <p>2018 年 12 月 1 日に施行された医療法改正において、臨床検査技師による精度保証・精度管理が重要視されているが、POCT の精度保証については責任者や実施内容が明確化されていないのが実情である。今回のセミナーでは座学において、POCT 機器・試薬の精度管理に検査前プロセス、検査後プロセスを加えた「POCT の精度保証」についての知識習得を目指す。</p> <p>また実習では精度保証に拘らず、検体採取が簡便な尿検体で測定可能な多種多様の POCT 対応機器・試薬を実際に経験していただく。</p> |
| 実施概要 | |
| 共催 | 7 社を予定 |
| 開催日時 | 2019 年 10 月 3 日（木） 13:00～17:00（予定） |
| 開催場所 | パシフィコ横浜 |
| 取得単位 | 4 時間 4 単位（総論、測定技術、運用技術）※単位検討中 |
| 募集人数 | 130 名 |
| 参加料 | 学会登録が必要（学会参加費に含まれる） |
| セミナー 幹事 敬称略 | <p>太田麻衣子 亀田総合病院 臨床検査部/JSCLA POC 技術委員会委員</p> <p>竹澤 理子 三井記念病院 臨床検査部/JSCLA POC 技術委員会委員</p> <p>櫛引 健一 和泉市立総合医療センター/JSCLA POC 技術委員会幹事委員</p> <p>山崎 家春 株式会社ビー・エム・エル/JSCLA POC 技術委員会委員</p> <p>小林 隆 栄研化学株式会社/JSCLA POC 技術委員会幹事委員</p> <p>奥田 優子 東邦大学医療センター大森病院/JSCLA POC 技術委員会事務局</p> <p>岡 尚人 ラジオメーター株式会社/JSCLA POC 技術委員会委員事務局補佐</p> |
| プログラム | |
| 講演 | <p>講演Ⅰ（50分） 講師：桑 克彦（一般社団法人 臨床検査基準測定機構） 内容：（仮）POCT における精度保証（QA、quality assurance）の基本</p> <p>講演Ⅱ（20分） 講師：木下真紀（天理よろづ相談所病院 臨床検査部） 内容：（仮）病院 POCT における精度保証の実践例 司会：山崎家春（株式会社ビー・エム・エル） 小林 隆（栄研化学株式会社）</p> <p>講演Ⅲ（30分） 講師：菊池春人（慶應義塾大学病院 臨床検査科） 内容：尿検査の精度保証は可能か？司会：櫛引健一（和泉市立総合医療センター）</p> |
| 実習 | <p>9 ブース：各 12 分、計 108 分を予定</p> <p>共催企業による POCT 対応機器・試薬の実習 尿検体で測定可能な機器・試薬を経験する 司会：太田麻衣子（亀田総合病院 臨床検査部） 竹澤 理子（三井記念病院 臨床検査部）</p> |

| | |
|----------|---|
| 経費 備考 | 1. 会員以外講師への謝金・宿泊・交通費は自動化学会から支出 2. 機器・試薬等は共催企業からの提供 |
|----------|---|

(敬称略)

2019年10月3日(木) 13:00開始

| プログラム | |
|--------|--|
| 開会の辞 | 13:00~13:05 (5分) 日本臨床検査自動化学会 POC 技術委員会 委員長 |
| 講演 I | 13:05~13:55 (50分) 内容:(仮) POCTにおける精度保証(QA、quality assurance)の基本 講師:桑 克彦(一般社団法人 臨床検査基準測定機構) 司会:山崎家春(株式会社ビー・エム・エル) 小林 隆(栄研化学株式会社) |
| 講演 II | 13:55~14:15 (20分) 内容:(仮) 病院 POCT における精度保証の実践例 講師:木下真紀(天理よろづ相談所病院 臨床検査部) 司会:山崎家春(株式会社ビー・エム・エル) 小林 隆(栄研化学株式会社) |
| 休憩 | 10分間 |
| 講演 III | 14:25~14:55 (30分) 内容:(仮) 尿検査の精度管理 講師:菊池 春人(慶應義塾大学病院 臨床検査科) 司会:櫛引 健一(和泉市立総合医療センター) |
| 休憩 | 10分間 ※休憩と会場移動 |
| 実習 | 実習及び解説 15:05~16:55 12分×9ブース (108分) 司会:太田麻衣子(亀田総合病院 臨床検査部) 竹澤 理子(三井記念病院 臨床検査部) 内容:尿検体で測定可能な POCT 1. トライエージ DOA/シスメックス株式会社 2. ポケットケム UA/アークレイマーケティング株式会社 3. コバス MAU II/ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 4. US-1200/栄研化学株式会社 5. イムノキャッチ肺炎球菌/レジオネラ、ラピラン H.ピロリ抗体スティック/栄研化学株式会社 6. DCA Vantage/シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社 7. Afinion/アリーア メディカル株式会社 8. BinaxNOW 肺炎球菌、レジオネラ/アリーアメディカル株式会社 9. HCG テストパック・プラス OBC/株式会社三和化学研究所 |
| 閉会の辞 | 16:55~17:00 日本臨床検査自動化学会 POC 技術委員会 副委員長 |

| 第 73 回 POC セミナー企画・開催概要 (日臨技九州支部卒後教育研修会『第 12 回 生物化学部門研修会』) | |
|--|--|
| テーマ | 検査室外の機器の管理・運用 |
| 概要 | 医療法改正において検査室外の機器管理・運用が注目されている。本セミナーでは POC に触れる機会を作り、各機器の特色や精度管理、測定上の注意点などを学ぶ。また検査技師が医師やコメディカルの方々に使用していただけるようにコーディネートできるスキルを身につける。そして遠方で自動化学会に参加できていない九州地区の会員に自動化学会共催の POC セミナー（実習形式）を体感していただくことを目的とする。 |
| 実施概要 | |
| 共催 | (一社) 日本臨床衛生検査技師会九州支部、(一社) 日本臨床検査自動化学会及び企業数社との共催 |
| 開催日時 | 2019 年 9 月 7 日 (土) 13:50~17:30 |
| 開催場所 | ホテルニュータング 〒850-0843 長崎県長崎市常盤町 2-24 TEL 095-827-6121 |
| 取得単位 | 4 単位：総論 (1 単位)、運用技術論 (2 単位)、測定技術論 (1 単位) |
| 募集人数 | 80 名 |
| 参加費 | 7000 円 (研修会参加費として) |
| セミナー 幹事 敬称略 | 中村 政敏 (鹿児島大学病院) 日本臨床衛生検査技師会九州支部 / POC 技術委員会委員 繁 正志 (大阪医科大学附属病院) POC 技術委員会委員 三好 雅士 (徳島大学病院) POC 技術委員会委員 小林 隆 (栄研化学株式会社) POC 技術委員会委員 奥田 優子 (東邦大学 大森医療センター) POC 技術委員会委員 岡 尚人 (ラジオメーター株式会社) POC 技術委員会委員 臼井 哲也 (長崎大学病院) 日本臨床衛生検査技師会九州支部 |
| プログラム | |
| 講演 | 「臨床工学技士が POC、臨床検査技師に求める事」 鹿児島大学病院 臨床工学技士長 谷口賢二郎 先生 「POC や SMBG を管理している臨床検査技師の話」 済生会熊本病院 春田 昭一 技師 「POC を含む検体検査の精度保証」 栄研化学株式会社 小林 隆 先生 |
| 実習 | POC 機器の管理・運用に関わる基礎技術論 ラジオメーター株式会社 (血液ガス) ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 (心疾患) ノバ・バイオメディカル株式会社 (血糖・腎機能) 積水メディカル株式会社 (敗血症) |
| その他 | |
| 経費 備考 | 非会員講師への謝金・宿泊・交通費は長崎県技師会から支出。 実習に供する試薬・機器等は共催企業が準備・負担する。 |

(敬称略)